

認定心理士 資格取得の手引き

2026年度



放送大学

目 次

I . 「認定心理士」の資格取得を目指す方へ	1
II . 認定心理士の資格取得をするために	2
1. 資格取得のための条件について	2
2. 放送大学入学から認定心理士申請までの流れについて	2
3. 認定心理士資格取得に必要な学費について	3
4. 認定単位数を満たすには	4
5. 認定条件について	5
6. 基礎科目の認定条件を満たすための注意点	5
III . 放送大学の対応科目について	7
1. 認定心理士対応科目表【2026 年度開講科目】	7
2. 年度別資格取得対応科目一覧	8
3. 「年度別資格取得対応科目一覧」の掲載科目について	9
IV . 申請方法について	10
1. 電子申請	10
2. 郵送での申請	11
3. 放送大学関連の申請書類について	11
V . 認定心理士単位表作成ツール	12
VI . 「様式 3」「様式 4」の記入内容について	13
1. 様式 3「心理学関係科目修得単位表」の記入例	13
2. 様式 3「心理学関係科目修得単位表」記入上の注意点	14
3. 様式 4「基礎科目 c 領域実験・実習課題リスト」の記入例	15
4. 様式 4「基礎科目 c 領域実験・実習課題リスト」記入上の注意点	15
VII . FAQ（よくあるご質問）	16



I. 「認定心理士」の資格取得を目指す方へ



認定心理士は、「公益社団法人日本心理学会」が心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術を正規の課程において修得していることを認定する資格です。つまり、認定心理士とは、「この方は大学で心理学の標準的な基礎教育を受けてきました」ということを、日本心理学会が認定するものです。

認定心理士の資格取得者は2025年3月現在で76,600人に達しています。

認定心理士の申請条件は、「大学を卒業して学士の学位を取得していること」および「大学で心理学に関する科目を36単位以上修得していること」となっています。放送大学では、大学卒業と認定心理士資格取得を同時に目指すことが可能です。また、大学を既に卒業された方は、その時の専攻と関係なく本学で認定心理士に必要な単位を修得することにより、申請することができます。

放送大学は「教養学部」ですので、「心理と教育コース」で心理学を中心に学んで卒業した方も、得られる学位は「学士（教養）」となります。放送大学について詳しく知らない方には、大学で何を学んできたのか、はっきりと理解されにくいでしょう。放送大学に限らず、たとえば「〇〇大学人文学部人間科学専攻」等を卒業された方は皆、同じ状況にあります。そういった方々にとって、大学で学んだ心理学について、標準的基礎学力と技能を修得していることを証明できるのが、この資格です。放送大学ではこれまでに15,400人以上の方が認定心理士の資格申請を行っています。

現代社会では、心理学の知識を必要とする場面が数多くあります。たとえば、企業の人事担当者は、採用や人事労務管理等の仕事に心理学の知識を生かすことができるでしょう。また、ボランティア活動の場などでも心理学の知識を生かした活躍が期待できますし、人と人との関わり合いを考える場合においても心理学の知識が役立つことでしょう。

認定心理士は日本心理学会が認定している資格です。

資格取得の方法や申請書類については、事前に日本心理学会が発行している「認定心理士資格申請の手引き（2014年度改訂版）」を必ずお読みください（日本心理学会のウェブサイト参照）。

Ⅱ. 認定心理士の資格取得をするために

1. 資格取得のための条件について

認定心理士の資格を取得するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。

大学(大学院)を卒業(修了)し
学士(修士)の学位を取得^{※1}



大学(大学院^{※2})で
所定の36単位以上を修得

※1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構で取得した学士の学位も利用できます。

※2 大学院の科目が利用できるのは、一部の領域のみです。

①放送大学で卒業を目指す方→認定心理士の申請に必要な単位を含めて卒業要件124単位を修得

②4年制大学を既に卒業された方→認定心理士の申請に必要な単位のみを修得

2. 放送大学入学から認定心理士申請までの流れについて

ここでは、放送大学入学から認定心理士資格取得までの流れを大まかに解説します。

STEP1 必要書類の入手 (日本心理学会・放送大学)

日本心理学会発行の「認定心理士資格申請の手引き(2014年度改訂版)」および本学が発行する「学生募集要項」、「授業科目案内」等をご覧ください。

※なお、認定心理士資格取得のためには、本学の入学科、授業料のほか、日本心理学会の審査料、認定料等所定の費用が必要となります。

※放送大学ウェブサイトでも認定心理士の資格についてまとめているので、参考にしてください。

STEP2 入 学

放送大学の入学時期は、4月と10月の年2回です。全科履修生、選科履修生または科目履修生として、教養学部の手続きを行ってください。(P.16「FAQ」Q1参照)

STEP3 履修計画を立てる

履修計画を立てるには、放送大学ウェブサイトにある「認定心理士単位表作成ツール」が便利です。(P.12参照)

2026年度開講科目についてはP.7を参照してください。

STEP4 科目登録(各学期)

P.7「対応科目表」を参照して科目を選択し、登録してください。

※新規入学生および再入学生は出願時に科目登録を行います。

STEP5 所定の36単位以上を修得 + 大学を卒業し学士を取得

①放送大学で卒業を目指す方は卒業要件の124単位を修得してください。

②4年制大学を既に卒業された方は認定心理士の申請に必要な単位を修得してください。

STEP6 日本心理学会へ申請

【電子申請】

日本心理学会のウェブサイトから直接申請してください(P.10参照)。申請データ送信後、日本心理学会へ必要書類を郵送してください。

【郵送での申請】

申請書類を作成後、日本心理学会へ直接郵送してください(P.11参照)。

※2022年より、「様式3」に担当教員の証明が不要になりました。

※電子申請と郵送での申請では、郵送する書類が異なりますので、ご注意ください。

STEP7 審 査 ・ 合 格

審査に合格された方には、認定心理士の認定証とIDカードが発行されます(審査・認定には所定の費用が必要となります。詳細は日本心理学会ウェブサイト等で確認してください)。

3. 認定心理士資格取得に必要な学費について

学生の種類は3種類あります。目的や在学年限に合わせて、学生の種類を選んでください。
(P.16「FAQ」Q1、Q2参照)

【2026年度 入学料・授業料】

学生の種類		入学料	授業料
全科履修生	卒業を目指す 最長10年間在学可	24,000円	1単位あたり 6,000円
選科履修生	好きな科目を履修 1年間在学	9,000円	※科目には、1単位・2単位のものがあります。 ※詳細については、学生募集要項をご確認ください。
科目履修生	好きな科目を履修 半年間在学	7,000円	

- ・放送大学の卒業を目指す場合は、必ず「全科履修生」として入学してください。認定心理士資格取得に必要な単位を卒業要件に生かすには、「心理と教育コース」をお勧めします。
- ・卒業を目指さない場合、いずれの学生種でも構いません。科目を履修するのに必要な期間等によって決めてください。
- ・資格取得のために必修の面接授業またはライブWeb授業には受講定員が設けられています。定員を上回る科目登録申請があった場合は抽選となり、計画どおりに履修できない可能性もありますので、出願にあたりご注意ください。

【学費例】

※すべて「基本主題」を選択した場合です。「副次主題」を選択した場合は、これよりも必要科目数が多くなります。(P.4参照)

① 放送大学で卒業を目指す方 ➡ 認定心理士の申請に必要な単位を含めて卒業要件124単位を修得

入学料 24,000円 (全科履修生)
授業料 744,000円 (1単位6,000円×124単位) ※
合計 768,000円

※うち認定心理士に必要な科目にかかる授業料は216,000円(1単位6,000円×36単位)です。
なお、「副次主題」を選択した場合は、必要科目数が多くなるため、認定心理士に必要な科目にかかる授業料は上記の金額よりも高くなります。

② 4年制大学を既に卒業された方 ➡ 認定心理士の申請に必要な単位のみを修得

全科履修生の場合

入学料 24,000円 ※1
授業料 216,000円 (1単位6,000円×36単位) ※2
合計 240,000円

- ※1 入学料は、選科履修生の場合は9,000円、科目履修生の場合は7,000円となります。
※2 「副次主題」を選択した場合は、必要科目数が多くなるため、これよりも授業料は高くなります。

4. 認定単位数を満たすには

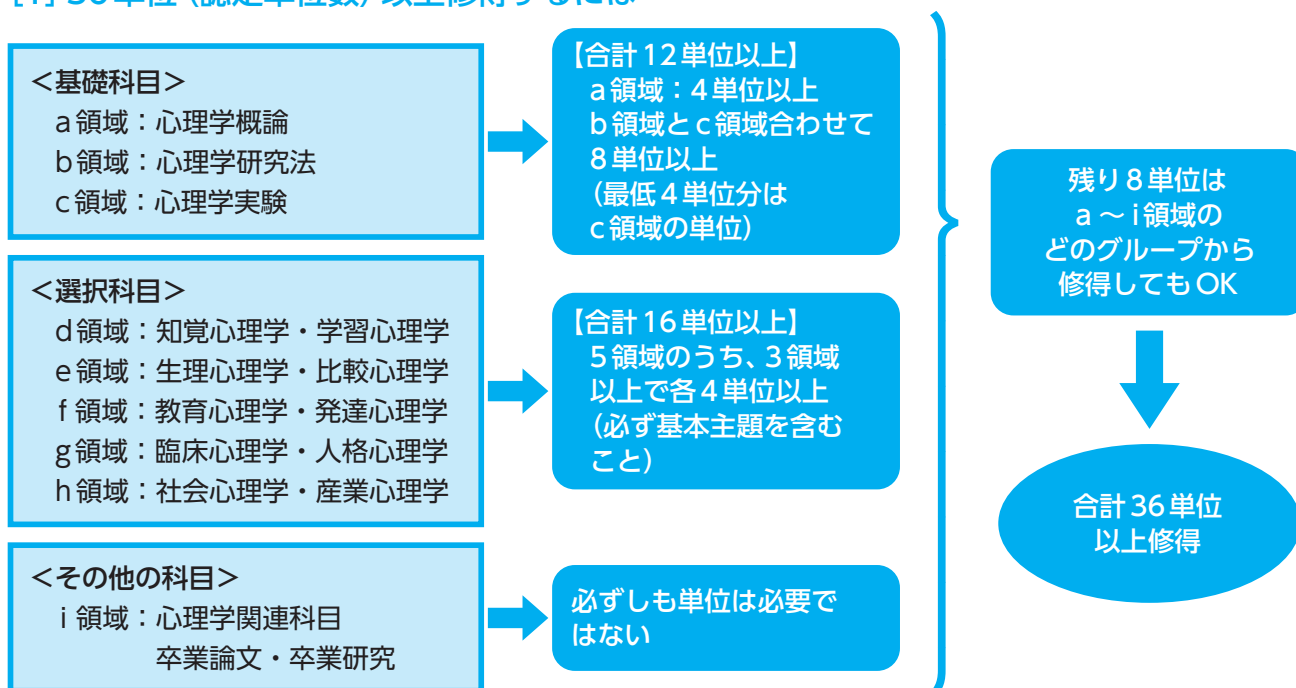
資格取得のためには、認定の対象となる心理学関係科目について、所定の単位数（認定単位数）を修得している必要があります。認定の対象となる科目には、基礎科目（a、b、c領域）、選択科目（d、e、f、g、h領域）、その他の科目（i領域）の3つのグループがあります。

認定単位数を満たすには、基礎科目から12単位以上（a領域4単位以上、b領域とc領域合わせて8単位以上、かつ最低4単位分はc領域の単位）、選択科目から16単位以上（5領域のうち、3領域以上で各4単位以上）修得する必要があります。

残り8単位はどのグループからでも修得できますが、全体で36単位以上の認定単位数を修得していなければなりません。

※ 2027年度から単位認定基準が一部改訂される予定です。日本心理学会から詳細が発表され次第、放送大学ウェブサイト等でもお知らせいたします。

[1] 36単位（認定単位数）以上修得するには



注 意

日本心理学会の認定基準（2014）を満たすには、上記の必要な認定単位数を充足するだけでなく、基礎科目の認定条件も充足する必要があります。詳しくは、P.5～6をご確認ください。

[2] 基本主題・副次主題とは

日本心理学会では、資格取得に必要な単位の認定基準を以下のように定めています。

<基本主題>

各領域で認定心理士に求められている最も重要な必修的知識または技術の科目。修得単位数（大学で修得した単位数）がそのまま認定単位数となります。

<副次主題>

当該領域の基本主題としては認められないが、若干条件を緩くしてこの領域に含めることができる科目。修得単位数の半分が認定単位数となります。

◎放送大学の認定心理士対応科目はP.7をご参照ください。

5. 認定条件について

認定基準（2014）は、認定単位数を充足するだけでなく、基礎科目の各領域に求められている認定条件も充足する必要があります。

【基礎科目】

領 域	認定基準（2014）	
	認定単位数	認定条件
a領域：心理学概論	4単位以上	心理学の基礎分野（知覚・認知・学習・記憶・言語・思考・人格・動機づけ・感情・発達・社会・行動など）を満たすこと
b領域：心理学研究法	b領域とc領域合わせて8単位以上 （最低4単位分はc領域の単位）	心理学における実証的研究方法の基礎知識を満たすこと
c領域：心理学実験		実験的方法で知覚や認知、社会など基本的な内容の課題を4つ以上含む計6課題以上を体験的に学習すること

基礎科目の認定条件を満たしているかどうかについては、本学ウェブサイトで公開している「認定心理士単位表作成ツール」を参考にしてください。認定条件を満たしていない場合、赤字でメッセージが表示されます（P.12 参照）。

ただし、他大学で修得した単位や、統計学に関する科目については、認定条件のチェックができませんので、ご自身で確認してください。

6. 基礎科目の認定条件を満たすための注意点

【1】 a、b、c 領域は認定単位数だけでなく、認定条件も充足する必要があります。

認定単位数だけを充足していても、基礎科目の各領域で必要とされる認定条件を充足していない場合は、不合格になる可能性があります。認定単位数の充足だけでなく、基礎科目の各領域で必要とされる認定条件を充足するよう、以下の点に注意して、科目を履修するようにしてください。

◆a領域

a領域の認定条件を満たすためには、下記の「a領域の認定条件を満たす放送大学の対応科目」の中から必ず1科目を履修してください。あとの科目は、基本主題でも副次主題でも問題ありませんので、残りの必要単位（認定単位数2単位以上）をa領域の対応科目で修得してください。

a領域の認定条件を満たす放送大学の対応科目

心理学概論（'24）〔心理学概論（'18）、心理学概論（'12）、心理学入門（'06）、心理学初歩（'02）〕

〔 〕は閉講科目です。

◆b領域

b領域の認定条件を満たすためには、下記の「b領域の認定条件を満たす放送大学の対応科目」の中から必ず1科目を履修してください。さらに、**統計学に関する科目**を認定単位数1単位以上履修する必要があります（「心理学統計法（'21）」や「統計学（'19）」など）。

b領域の認定条件を満たす放送大学の対応科目

心理学研究法（'20）〔心理学研究法（'14）、心理学研究法（'08）、心理学研究法（'03）〕

〔 〕は閉講科目です。

※b領域の認定条件を満たすための統計学に関する科目について

統計学に関する科目は、放送授業だけでなくオンライン授業や面接授業でも履修可能です。

統計学に関する科目については、放送大学ウェブサイトに掲載の「年度別資格取得対応科目一覧」の備考欄に「統計学に関する科目」と記載しています（面接授業は、2011年度以降の対応科目のみ記載しています。2010年度以前の面接授業科目については、ご自身で判断してください）。

◆c領域

c領域の認定条件を満たすには、実験的方法で知覚や認知、社会など基本的な内容の課題を4つ以上含む計6課題以上を体験的に学習する必要があります。c領域の基本主題となる「心理学実験」に関する科目は、1科目につき2～4つの実験実習課題（『ミューラー・リヤー錯視』『自由再生による記憶の系列位置効果』『ストループ効果』など）を実施しています。認定条件を確実に満たすために、c領域に必要な認定単位数計4単位のうち3単位以上は、下記に示すような**基本主題となる科目を履修**してください。

c領域の認定条件を満たす典型的な基本主題の科目

心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3、心理検査法基礎実習、心理学実験（基礎）* など

※「心理学実験（基礎）」は1科目2単位（15コマ）のライブWeb授業です。詳しくは、放送大学ウェブサイトやシラバスをご確認ください。

なお、心理学実験科目の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。そのため、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

注 意

- ① c領域を副次主題の科目（認定単位数は0.5単位）を中心に履修した場合、必要な認定単位数（計4単位以上）を満たしたとしても、資格審査の際、履修した科目の内容が上記の認定条件を満たしていないと判断される可能性があります。副次主題の履修は、4単位中1単位以内に留めてください。
- ② 面接授業およびライブWeb授業の履修については、P.16「FAQ」のQ3をご確認ください。
- ③ 面接授業およびライブWeb授業については、詳しくは放送大学ウェブサイトをご参照ください。

■面接授業

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/schooling/>

■ライブWeb授業

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/>

[2] b領域とc領域で合計8単位以上（認定単位数）という計算の仕方になります。

「b領域とc領域を合わせて8単位以上の修得」と、「c領域は最低4単位以上の修得」の両方を満たす必要があります。これに加え、b領域・c領域ともに認定条件を満たさなければなりません。c領域に対応する科目のみで8単位以上の単位修得をしても、認定条件を満たすことができません。

Ⅲ. 放送大学の対応科目について

1. 認定心理士対応科目表【2026年度開講科目】

※ 2027年度から単位認定基準が一部改訂される予定です。

日本心理学会から詳細が発表され次第、放送大学ウェブサイト等でもお知らせいたします。

この対応科目表には、2026年度に開講している教養学部の放送授業科目・オンライン授業科目を掲載しています。それ以外の科目については、放送大学ウェブサイトに掲載の「年度別資格取得対応科目一覧」でご確認ください（P.8参照）。なお、科目の認定の最終判定は、日本心理学会が行います。

		領域		放送大学開講科目		認定単位数	基礎科目の《認定条件》を満たすための 注意点 [注6]	公認心理師 「大学における 必要な科目」の 対応科目 [注8]
				科目名				
基礎科目	認定 単位数 12 単位以上	a 領域 心理学概論	4 単位以上	心理学概論（'24）	基本主題（2単位）	必ず履修すること	○	
				教育・学校心理学（'20） [注1]	基本主題（2単位）		○	
				発達心理学概論（'17） [注2]	副次主題（1単位）		○	
				臨床心理学概論（'20） [注3]	副次主題（1単位）		○	
				心理と教育へのいざない（'24）	副次主題（1単位）			
		b 領域 心理学 研究法	b 領域と c 領域 合わせて 8 単位以上 (最低4単位分は c 領域の単位)	心理学研究法（'20）	基本主題（2単位）	必ず履修すること	○	
				心理学統計法（'21）	基本主題（2単位）		○	
				統計学（'19）	副次主題（1単位）	統計学に関する科目を1単位以上修得すること [注7]		
				身近な統計（'24）	副次主題（1単位）			
				社会統計学入門（'24）	副次主題（1単位）			
				データの分析と知識発見（'24）	副次主題（1単位）			
		Rで学ぶ確率統計（'21） [注4]	副次主題（0.5単位）					
ユーザ調査法（'20）	副次主題（1単位）							
c 領域 心理学実験		各学習センター等で実施される心理学実験・実習の面接授業およびライブWeb 授業（対応科目については、放送大学ウェブサイトに掲載の「年度別資格取得対応科目一覧」をご覧ください。）	基本主題（1単位または2単位） 副次主題（0.5単位）	基本主題の科目を3単位以上修得すること	「心理学実験」の対応科目を2単位履修			
選択科目	認定 単位数 16 単位以上	d 領域 知覚心理学 学習心理学	5 領域のうち 3 領域 以上で 各4 単位以上 (必ず基本主題を含むこと)	錯覚の科学（'20）	基本主題（2単位）			
				知覚・認知心理学（'23）	基本主題（2単位）		○	
				より良い思考の技法（'23）	基本主題（2単位）			
				学習・言語心理学（'25）	基本主題（2単位）		○	
		e 領域 生理心理学 比較心理学		進化心理学（'23）	基本主題（2単位）			
				神経・生理心理学（'26）	基本主題（2単位）		○	
		f 領域 教育心理学 発達心理学		発達心理学概論（'17） [注2]	基本主題（2単位）		○	
				教育・学校心理学（'20） [注1]	基本主題（2単位）		○	
				思春期・青年期の心理臨床（'19）	基本主題（2単位）			
				臨床心理学概論（'20） [注3]	基本主題（2単位）		○	
				中高年の心理臨床（'20）	基本主題（2単位）			
				感情・人格心理学（'21）	基本主題（2単位）		○	
				障害者・障害児心理学（'21）	基本主題（2単位）		○	
				心理カウンセリング序説（'21）	基本主題（2単位）		○	
				福祉心理学（'21）	基本主題（2単位）		○	
				精神分析とユング心理学（'23）	基本主題（2単位）			
				イメージの力（'24）	基本主題（2単位）			
				ライフサイクルの心理臨床（'26）	基本主題（2単位）			
				認知行動療法（'26）	基本主題（2単位）			
				心理的アセスメント（'26）	基本主題（2単位）		○	
				司法・犯罪心理学（'26）	基本主題（2単位）		○	
		今日のメンタルヘルス（'23）		副次主題（1単位）		○		
		精神疾患とその治療（'26）		副次主題（1単位）		○		
		h 領域 社会心理学 産業心理学		社会・集団・家族心理学（'26）	基本主題（2単位）		○	
				産業・組織心理学（'26）	基本主題（2単位）		○	
i 領域 心理学 関連科目 卒業論文 卒業研究			色を探究する（'23）	2 単位				
		空間を考究する（'26） [注4]	1 単位					
		卒業研究（心理と教育） [注5]	4 単位					
合計 認定単位数 36 単位以上								

【注1】「教育・学校心理学（'20）」は、a領域、f領域いずれか1つの領域の基本主題として申請できます。

【注2】「発達心理学概論（'17）」は、a領域（副次主題）、f領域（基本主題）いずれか1つの領域の科目として申請できます。

【注3】「臨床心理学概論（'20）」は、a領域（副次主題）、g領域（基本主題）いずれか1つの領域の科目として申請できます。

【注4】「Rで学ぶ確率統計（'21）」、「空間を考究する（'26）」は、1科目1単位のオンライン授業です。

【注5】卒業研究が認定の対象となるのは、指導教員が心理学分野の教員の場合に限られます。詳しくは、P.14の【注】をご確認ください。

【注6】基礎科目は「認定単位数」だけでなく、「認定条件」も充足する必要があります。詳しくはP.5～6をご確認ください。

【注7】統計学に関する科目については、面接授業でも履修可能です。詳しくはP.6をご確認ください。

【注8】公認心理師「大学における必要な科目」は、本表の科目のみで満たせるものではありません。放送大学ウェブサイト「公認心理師」ページをご確認ください。

2. 年度別資格取得対応科目一覧

1985年度以降、放送大学で開講した科目のうち、認定心理士の資格取得に利用できる科目を放送大学ウェブサイトに掲載しています。

- 対応科目：教養学部
放送授業・オンライン授業
教養学部の面接授業・ライブWeb授業
大学院の放送授業・オンライン授業

■認定心理士の年度別資格取得対応科目一覧

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist/list/>



※対応科目を開くには※

放送大学ウェブサイト トップページ

↓
選ばれる理由

↓
資格取得とキャリアアップ

↓
【心理学に関する資格】

認定心理士

↓
認定心理士の
年度別資格取得対応科目一覧

※科目登録をする際には、どの領域の基本主題／副次主題に対応しているのかをよく確認してください。

※同じ科目名であっても、対応領域が異なる科目がありますので、必ず単位を修得した年度の対応領域をご確認ください。

教養学部の放送授業・オンライン授業の資格取得対応科目一覧画面（一例）

No.	科目コード	科目名	領域	メディア	主任講師	備考
1	5750024	あ Rで学ぶ確率統計('21) [注1]	b副	OL	秋光淳生准教授	統計学に関する科目
2	1529730	い イメージの力('24)	g基	TV	佐藤仁美准教授	
3	1920022	い 色を探究する('23)	i	TV	佐藤仁美准教授、二河成男教授	
4	1529803	か 学習・言語心理学('25)	d基	TV	高橋秀明教授	
5	1529498	か 感情・人格心理学('21) [注2]	g基	RA	大山泰宏客員教授、佐々木玲仁客員准教授	
6	1720082	き 教育・学校心理学('20)	a基／f基	TV	進藤聡彦教授、谷口明子客員教授	
7	5940028	く 空間を考究する('26) [注3]	i	OL	大橋理枝教授、佐藤仁美准教授、岸根順一郎教授	
8	1519433	こ 今日のメンタルヘルス('23)	g副	TV	石丸昌彦客員教授	
9	1529404	さ 錯覚の科学('20)	d基	TV	菊池聡客員教授	
10	1529820	さ 産業・組織心理学('26)	h基	RA	池田浩客員准教授、加藤容子客員教授	
11	1529846	し 司法・犯罪心理学('26)	g基	RA	廣井亮一客員教授	
12	1529293	し 思春期・青年期の心理臨床('19)	g基	RA	大山泰宏客員教授	
13	1529854	し 社会・集団・家族心理学('26)	h基	TV	森津太子教授	
14	1730185	し 社会統計学入門('24)	b副	RA	林拓也客員教授	統計学に関する科目
15	1529579	し 障害者・障害児心理学('21)	g基	RA	古賀精治客員教授	
16	1529501	し 心理カウンセリング序説('21)	g基	TV	大山泰宏客員教授	
17	1140124	し 心理と教育へのいざない('24)	a副	RA	苑復傑教授、向田久美子教授、佐藤仁美准教授	
18	1720104	し 心理学概論('24)	a基	TV	森津太子教授、向田久美子教授	
19	1529390	し 心理学研究法('20)	b基	TV	三浦麻子客員教授	
20	1529510	し 心理学統計法('21)	b基	TV	清水裕士客員教授	統計学に関する科目
21	1529889	し 心理的アセスメント('26)	g基	RA	永田雅子客員教授、松本真理子客員教授	
22	1529862	し 神経・生理心理学('26)	e基	TV	高瀬聖吉客員教授	
23	1529714	し 進化心理学('23)	e基	TV	大坪庸介客員教授	
24	1519581	せ 精神疾患とその治療('26)	g副	RA	石丸昌彦客員教授、糸川昌成教授	
25	1529722	せ 精神分析とユング心理学('23)	g基	RA	吉川真理客員教授、田中健夫客員教授	
26	1529706	せ 知覚・認知心理学('23)	d基	TV	石口彰客員教授	
27	1529455	ち 中高年の心理臨床('20)	g基	RA	宇都宮博客員教授、大川一郎客員教授	
28	1579460	て データの分析と知識発見('24)	b副	TV	秋光淳生准教授	統計学に関する科目
29	1562959	と 統計学('19)	b副	RA	藤井良宜客員教授	統計学に関する科目
30	1529897	に 認知行動療法('26)	g基	TV	高梨利恵子准教授、越川房子客員教授	
31	1720023	は 発達心理学概論('17)	f基／a副	RA	向田久美子教授	
32	1529560	ふ 福祉心理学('21)	g基	RA	村松健司教授、坪井裕子客員教授	
33	1160036	み 身近な統計('24)	b副	TV	石崎克也教授、渡辺美智子客員教授	統計学に関する科目
34	1570390	ゆ ユーザ調査法('20)	b副	TV	高橋秀明教授	
35	1140116	よ より良い思考の技法('23)	d基	TV	菊池聡客員教授	
36	1529900	ら ライフサイクルの心理臨床('26)	g基	TV	大山泰宏客員教授、佐藤仁美准教授	
37	1529447	り 臨床心理学概論('20)	g基／a副	TV	村松健司教授、倉光修客員教授	

注 意

開設年度が古い面接授業科目をc領域の資格対応科目として申請する場合、講義内容の詳細がシラバスに記載されていないことがあります。各科目の授業内容の詳細までは大学で把握していませんので、c領域の科目についても、授業内でどのような実験実習が行われたかなどをお答えすることができません。

様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」に、ご自身で授業内容を記入することができない場合は、c領域の対応科目を改めて履修することをお勧めします。

3. 「年度別資格取得対応科目一覧」の掲載科目について

認定心理士の資格取得に必要な知識や技術の修得について、c領域（心理学実験）以外の科目は、放送授業科目での学習を推奨しています。放送授業科目は、印刷教材や放送教材等を活用することで、認定心理士資格に関連する知識をより確実なものにすることができる科目です。

放送大学では、c領域以外のすべての領域に対応する放送授業科目を十分に揃えています。**認定心理士の資格取得を目指すにあたり、c領域以外の領域は、放送授業科目で必要単位を修得することを推奨します。**

ただし、b領域の認定基準は、「b領域とc領域合わせて8単位以上」として設定されているため、c領域以外の必要単位に関しては放送授業科目を履修することを優先しながらも、必要に応じて、面接授業科目等で修得しても構いません。

c領域は、実験実習の課題を実際に体験的に学習することが求められています。これらに対応する科目としては、面接授業科目やライブWeb授業科目が開設されています。

【2023年度第1学期以降の面接授業科目およびライブWeb授業科目の掲載科目について】

2022年度第2学期までの面接授業科目およびライブWeb授業科目の「年度別資格取得対応科目一覧」には、すべての領域の対応科目が掲載されています。2023年度第1学期以降は、c領域以外の領域は放送授業科目で必要単位を修得することを推奨するため、面接授業科目およびライブWeb授業科目については、b、c領域の対応科目のみの掲載とします。

2022年度第2学期までの面接授業科目およびライブWeb授業科目の掲載科目
すべての領域の対応科目

2023年度第1学期以降の面接授業科目およびライブWeb授業科目の掲載科目
b、c領域に対応する科目のみ

【2023年度第1学期以降の「年度別資格取得対応科目一覧」について】

2023年度第1学期以降の「年度別資格取得対応科目一覧」に掲載する各領域の対応科目は、以下のとおりとします。

領域	掲載科目
a領域	放送授業科目
b領域	放送授業科目・オンライン授業科目・面接授業科目・ライブWeb授業科目
c領域	面接授業科目・ライブWeb授業科目
d～h領域	放送授業科目
i領域	放送授業科目

※各授業形態の科目登録申請方法や履修方法については、学生募集要項等でご確認ください。

注 意

- ① b、c領域以外の領域について、「年度別資格取得対応科目一覧」に掲載されていない面接授業科目およびライブWeb授業科目を認定心理士の資格取得に利用する場合は、**日本心理学会のウェブサイトに掲載されている『単位認定基準』を参照し、ご自身で判断してください。**なお、これまでに掲載されている科目と同一科目（科目名・担当講師・授業内容がすべて同じ科目）を認定心理士の資格取得に利用する場合も、ご自身で判断してください。**利用の可否について放送大学や日本心理学会にお問合せいただいても、お答えできません。**
- ② 2022年度以前に単位を修得した科目で「年度別資格取得対応科目一覧」に掲載されている科目は、2023年度以降も資格取得申請に利用できます。

Ⅳ. 申請方法について

認定心理士資格を取得するための申請方法には、**電子申請**と**郵送での申請**の2つがあります。いずれの方法でも申請可能ですが、利便性の高さから電子申請を推奨します。

1. 電子申請

日本心理学会のウェブサイト (https://psych.or.jp/qualification/shinsei_shinrishi_densi/)

から直接申請できます。



(日本心理学会 認定心理士申請システム画面)

注 意

電子申請システムは、認定心理士の資格認定を行う日本心理学会が運営しています。

そのため、放送大学では、このシステムの使い方等に関する質問にお答えすることができません。

電子申請についてご不明な点は、日本心理学会にお問合せください。

《日本心理学会お問合せ先》

公益社団法人日本心理学会

TEL : 03-3814-3962

E-mail : jpanintei@psych.or.jp

電子申請の流れ>>>>



申請のポイント>>>>

- ① **単位修得後、日本心理学会のウェブサイトから直接申請できます。**
電子申請を行うにあたり、「成績・単位修得証明書」やシラバス等を参照する必要があるため、申請を始める前に手元にご用意ください。
- ② **科目選択機能が利用できます。**
すべての放送授業科目、オンライン授業科目およびライブWeb授業科目と、2011年度以降に開講された面接授業科目のうち、認定心理士資格取得に利用できる科目は、画面上で科目を選択すると、科目情報が自動で入力されます。ただし、c領域の心理学実験に関する実験・実習課題の内容については手入力する必要があります。
- ③ **Web上で必要事項を入力すれば、郵送する書類は最小限です。**
電子申請の場合は、申請データ送信後に郵送で提出が必要な書類は、「成績・単位修得証明書」「卒業（見込）証明書」のみです。ただし、シラバスや顔写真は、郵送が必要な場合もあります。すべての書類が日本心理学会に到着した時点で、受付完了です。
- ④ **審査料の振込が選択できます。**
クレジットカード、コンビニ支払い、銀行振込（オンライン）が選択できます。
- ⑤ **資格申請の進捗状況が確認できます。**
申請データ登録状況や、審査の進捗状況などが「申請ホーム」画面で随時確認できます。

詳しくは、日本心理学会発行の「申請データ入力マニュアル」をご参照ください。

2. 郵送での申請

郵送で申請する場合も、日本心理学会へ直接申請してください。

※2022年より、「様式3」に担当教員の証明が不要になりました。

郵送での申請の流れ>>>>>



申請のポイント>>>>>>>

- ① 日本心理学会のウェブサイトから申請書類をダウンロードし、作成してください。
申請書類については、必ず日本心理学会が発行している「認定心理士資格申請の手引き（2014年度改訂版）」をご確認ください。
- ② 「様式3」「様式4」は、放送大学ウェブサイトにある「認定心理士単位表作成ツール」を利用して、作成できます。印刷して、そのまま申請に利用してください。
- ③ 審査料を振り込みます。
- ④ 日本心理学会に必要な書類（シラバスなど）を添えて申請します。

3. 放送大学関連の申請書類について

申請に必要な書類のうち、放送大学で入手が必要な書類は以下のとおりです。

① シラバス（授業概要）

シラバス検索：<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/searchguide/>

郵送での申請をする場合、a、b、c 領域のシラバスが必要です。

◆放送授業科目・オンライン授業科目

第1回から第15回（または8回）までが記載されているシラバスの提出が必要です。

放送授業科目とオンライン授業科目のシラバスは、放送大学ウェブサイトから印刷できます。

（教養学部は1984年度以降、大学院修士課程は2002年度以降に開講されたすべての科目のシラバスが掲載されています。）

◆面接授業科目

2009年度以降に開講された科目は、放送大学ウェブサイトのシラバス検索から印刷できます。冊子「面接授業時間割表」の授業概要のコピーでも構いません。

※放送大学ウェブサイトから印刷できない場合や、面接授業の古いシラバスについては、最寄りの学習センターでコピーを入手してください（古いシラバスはお時間をいただくことがあります）。

※「心理学実験（Web）」のシラバスは、放送大学ウェブサイトの「認定心理士の資格取得に必要な科目と単位」のページ下部から印刷できます。

◆ライブWeb授業科目

放送大学ウェブサイトのシラバス検索から印刷できます。

※「心理学実験（基礎）」を検索する場合は、以下の項目を選択してください（システムの仕様変更等の事情により、検索方法は予告なく変わる場合があります）。

『年度・学期』：履修した年度・学期、『授業分類』：面接授業

『科目名』：心理学実験（基礎） ※“()”括弧は全角です。

② 成績・単位修得証明書および卒業証明書

最寄りの学習センターに請求してください。証明書の申請方法および交付願については、「学生生活の葉」をご参照ください。

V. 認定心理士単位表作成ツール

本学の「認定心理士単位表作成ツール」は、認定心理士の資格取得に必要な提出書類の一部である様式3「心理学関係科目修得単位表」、様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」を作成するためのツールです。認定基準を満たしていない場合、赤字でメッセージが表示されるため、認定単位数の確認や履修計画を立てるときに便利です。

資格取得に必要な各領域に該当する科目名を選択入力することで、修得単位、内容、担当講師および認定単位数が自動的に入力されます。下記以外の科目や、c領域の心理学実験に関する内容欄は手入力する必要があります。

◆選択できる科目

- ・すべての放送授業科目、オンライン授業科目
- ・面接授業科目、ライブWeb授業科目は2011年度以降のc領域対応科目のみ

※統計学に関する科目や他大学の科目については、認定条件のチェックができませんので、ご自身で確認してください(P.5～6参照)。

電子申請の場合>>>>>>>

赤字のメッセージが表示されなくなるまで修正し、認定基準を充足していることを確認してください。確認後、日本心理学会ウェブサイトの申請画面から「様式3」「様式4」の内容を直接入力して申請してください。

郵送での申請の場合>>>>>

様式3「心理学関係科目修得単位表」や様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」を簡単に作成することができます。2022年より、「様式3」に担当教員の証明が不要になりましたので、印刷(必ずA3またはA4の表面1枚)した「様式3」「様式4」は日本心理学会へ直接郵送してください。

◆「様式3」の入力画面

認定心理士単位表作成ツール

全科目検索・入力 (放送授業科目) c領域科目検索・入力 (2011年度以降の科目) 単位表出力 データ保存 データ読込 全てクリア 終了

心理学関係科目修得単位表

基礎科目

領域	科目名	単位	修得	内容	担当教員(氏名・職名・所属(研究室等))	注	備考
a	心理学概論						
b	心理学研究法						
c	心理学実験						

※実習課題内容、レポートについては様式4に記入すること。

様式4入力

修得単位数合計 0 単位

◆「様式4」の入力画面

認定心理士単位表作成ツール

クリア 戻る 決定

様式4 基礎科目c領域実験・実習課題リスト

③実験・実習の内容項目

実験に追加した実験実習の課題名(テーマ)を無条件で入力してください。
実験実習の課題名以外(領域など)の入力は不要です。

④レポートについて

a: 目的、方法、結果、考察を含む学術的レポートを学域外に作成して提出
b: 目的、方法、結果、考察を含む学域的レポートを学域中に作成して提出
c: 上記以外のレポート(感想文等)を提出
d: レポートなし
e: その他(③の空欄に具体的に記述する)

⑤実験・実習におけるあなたの役割

A: 実験者と参加者(協力者)の両方になった
B: 実験者だけになった
C: 参加者(協力者)だけになった
D: 実験者にも参加者(協力者)にもならなかった

①科目名	②修得単位	③実験・実習の内容項目	④レポート	⑤役割

❖ ツールを開くには ❖

放送大学ウェブサイト
トップページ
↓
選ばれる理由
↓
資格取得とキャリアアップ
↓
【心理学に関する資格】
認定心理士
↓
認定心理士の資格取得に
必要な科目と単位
↓
認定心理士単位表作成ツール

※事前に操作マニュアルをお読みください。

※必ずA3またはA4の表面(縦置き横書き)1枚になるように印刷してください。(不要な行は削除ボタンで削除できます。)

Ⅵ. 「様式3」「様式4」の記入内容について

注 意

- ・こちらは記入例です。必ずしもこのとおりに履修する必要はありません。
- ・郵送での申請の場合は、日本心理学会へ直接申請してください。
※ 2022年より、「様式3」に担当教員の証明が不要になりました。
- ・電子申請では、日本心理学会ウェブサイトの申請画面から「様式3」「様式4」の内容を直接入力します。

1. 様式3「心理学関係科目修得単位表」の記入例

様式3

基礎科目	2	3	4	5	1	7	8	9
心理学関係科目修得単位表							(記入日: 年 月 日)	
領域	科目名	単位	年度	期間	内容	担当者氏名・職名・他の教育機関(No.)	基	副
a 心理学概論	教育・学校心理学(20)	2	2020	半期	学校教育に関わる子どもの発達や教育の実践を心理学的に概説する	進藤聡彦教授、谷口明子客員教授	2	
	心理学概論(24)	2	2024	半期	心理学の基本的考え方、研究方法、および諸分野について概説する	森津太子教授、向田久美子准教授	2	
	心理と教育へのいざない(18)	2	2019	半期	心理学と教育学に関する基礎知識と、その思考方法・視点を学ぶ	向田久美子准教授、佐藤仁美准教授、田中統治客員教授		1 a小計
								5
b 心理学研究法	心理学統計法(21)	2	2021	半期	心理学で用いる統計的手法の基礎を学び、実践的手法を身につける	清水裕士客員教授	2	
	心理学研究法(14)	2	2017	半期	心理学研究法の特徴と実証的論理について概説する	大野木裕明客員教授、渡辺直登客員教授	2	
c 心理学実験	心理学実験1	1	2016	集中	実習課題内容、レポートについては 様式4に記入すること	梶原直樹講師	1	
	心理学実験2	1	2017	集中		田島祥講師	1	
	心理学実験3	1	2021	集中		有泉優里講師	1	bc小計
	心理検査法基礎実習	1	2022	集中		丸山純一講師	1	8
修得単位数小計		14	単位		認定単位数小計		13	単位

選 択 科 目

領域	科目名	単位	年度	期間	内容	担当者氏名・職名・他の教育機関(No.)	基	副
d 学習心理学	学習・言語心理学(21)	2	2021	半期	学習という人の行動変化の過程と言語習得の機序について概説する	高橋秀明教授	2	
								d小計
								2
e 比較心理学	神経・生理心理学(22)	2	2022	半期	脳の機能を中心に心の生物学的基礎とその研究手法を学ぶ	高瀬堅吉客員教授	2	
	比較認知科学(17)	2	2019	半期	動物のこころに関する最新知見を通じ、ヒトのこころの特徴を探索	藤田和生客員教授	2	e小計
								4
f 発達心理学	学力と学習支援の心理学(14)	2	2017	半期	学力と学習支援に関わる認知心理学の基礎概念とその実践を解説する	市川伸一客員教授	2	
	発達心理学概論(17)	2	2019	半期	乳児期から老年期までの心の発達について概説する	向田久美子准教授	2	
	発達心理学特論(21)	2	2021	半期	生涯発達の視点から各時期の発達の特徴と支援についての講義	荻野美佐子客員教授	2	f小計
								6
g 臨床心理学	心理カウンセリング序説(21)	2	2021	半期	心理学的な相談・支援に関する基礎とその展開について概説する	大山泰宏教授	2	
	心理臨床と身体の病(16)	2	2018	半期	医療における心理士の役割と支援の実践についての講義	小林真理子教授	2	
	思春期・青年期の心理臨床(13)	2	2018	半期	思春期・青年期の特徴を、発達の側面や医学(病理)的側面から理解する	佐藤仁美准教授、西村喜文客員教授	2	
	今日のメンタルヘルス(19)	2	2021	半期	メンタルヘルスの基礎知識を獲得し、諸問題の現状と対策を考える	石丸昌彦教授		1 g小計
								7
h 産業心理学	社会・集団・家族心理学(20)	2	2021	半期	社会的動物としての人間の心の仕組みと働きについて解説する	森津太子教授	2	
	産業・組織心理学(20)	2	2021	半期	組織行動、人的資源管理、安全衛生、消費者行動について概説する	山口裕幸客員教授	2	h小計
								4
修得単位数小計		24	単位		認定単位数小計		23	単位

その他の科目

領域	科目名	単位	年度	期間	内容	担当者氏名・職名・他の教育機関(No.)	基	副
i 卒業研究	卒業研究(心理と教育)	6	2022	通年	ユーマー志向性と自己洞察が心理的健康に与える影響	森津太子教授	4	
								i小計
								4
修得単位数小計		6	単位		認定単位数小計		4	単位
修得単位数総計		44	単位		認定単位数総計		40	単位

ふりがな	ほう	そう	わか	ば	11	他の教育機関名(学科まで)	10
申請者氏名	放	送	若	葉	印	①放送大学大学院文化科学研究科	
						②	
	放	送	大	学	教	養	学
						③	

2. 様式3「心理学関係科目修得単位表」記入上の注意点

※記入の際には、日本心理学会が発行している「認定心理士資格申請の手引き（2014年度改訂版）」も参照してください。

1 様式3「心理学関係科目修得単位表」について

様式3「心理学関係科目修得単位表」は、A3またはA4用紙1枚にまとめて記入してください（裏面や2枚目などは使用せず、縦置き横書きの表面1枚にまとめてください）。「認定心理士単位表作成ツール」を利用して作成した場合は、印刷した単位表で申請できますが、必ずA3またはA4用紙の縦置き横書きの表面1枚になるように調整して印刷してください（不要な行は削除ボタンで削除できます）。

2 科目名

放送大学の科目名を正確に記入してください。科目名は、成績通知の際に郵送される「単位修得状況一覧（単位認定書）」や、システムWAKABA等でご確認ください。また、修得科目数が多い場合は、すべて記入する必要はありません。認定単位数総計は、40単位程度で十分です。

3 単位

修得単位数（放送大学で修得した単位数）を記入してください。

4 年度

単位を修得した年度（西暦）を記入してください。

5 期間

放送授業およびオンライン授業は「半期」、面接授業およびライブWeb授業は「集中」と記入してください。ただし、卒業研究は「通年」とします。

6 内容

放送授業およびオンライン授業は修得した年度の「授業科目案内」、面接授業およびライブWeb授業は「授業概要（シラバス）」を参考にし、授業内容を1～2行にまとめて記入してください。

ただし、c領域の心理学実験科目は、様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」に記入してください。

7 担当者氏名・職名・他の教育機関（No.）

- 担当者氏名：放送授業およびオンライン授業は主任講師名のみ、面接授業およびライブWeb授業は担当講師名をフルネームで記入してください。
- 職名：放送授業、オンライン授業および卒業研究は「教授、客員教授、准教授、客員准教授」等を記入してください。面接授業およびライブWeb授業は担当講師が放送大学の専任教員の場合は「教授、准教授」、放送大学の専任教員以外の場合は「講師」と記入してください。いずれも所属（大学名など）は不要です。
- 他の教育機関（No.）：10を参照してください。

8 記入日

書類の作成日を記入してください。

9 基／副

認定単位数を記入してください。基本主題の科目は、上記3の修得単位数がそのまま認定単位数となります。副次主題の科目は、修得単位数の半分が認定単位数となります。i領域の卒業研究は、放送大学での修得単位数は6単位ですが、そのうち4単位が認定されます。なお、卒業研究が認定の対象となるのは、指導教員が心理学分野の教員の場合に限られます。

10 他の教育機関名（学科まで）

放送大学大学院の科目を修得した場合は、申請者氏名欄の右にある「他の教育機関名（学科まで）」欄の①に「放送大学大学院文化科学研究科」と記入し、当該科目の担当者氏名・職名の後に、対応する番号①を記入してください。他の教育機関で履修した科目も同様に記入してください。

11 申請者氏名

郵送の場合は必ず自筆でペン書きしてください。ふりがなを記入し、捺印をしてください。

3. 様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」の記入例

様式4 基礎科目c領域 実験・実習課題リスト			氏名： _____	
※可能な限り空欄を埋めてください				
①科目名	②担当者	③実験・実習の内容項目	④レポート	⑤役割
心理学実験 1	梶原直樹講師	・ミューラー・リヤーの錯視 ・概念学習 ・対人魅力	b a a	A C C
心理学実験 2	田島祥講師	・印象形成（中心特性の働き） ・自由再生による記憶の系列位置効果 ・運動技能学習におけるフィードバック効果	b a a	C A A
心理学実験 3	有泉優里講師	・逆向抑制 ・囚人のジレンマ ・社会的判断	a a a	A C A
心理検査法基礎実習	丸山純一講師	・YG 性格検査 ・ローカス・オブ・コントロール尺度 ・バウムテスト	b b b	C C C

4. 様式4「基礎科目c領域実験・実習課題リスト」記入上の注意点

氏名

郵送の場合は右上の氏名欄に自筆でペン書きしてください。

① 科目名

様式3「心理学関係科目修得単位表」のc領域に記載した科目と同一の科目名を記入してください。

② 担当者

上記①の科目の担当講師名を記入してください。職名は、担当講師が放送大学の専任教員の場合は「教授、准教授」、放送大学の専任教員以外の場合は「講師」と記入してください。いずれも所属（大学名など）は不要です。

③ 実験・実習の内容項目

各科目について、シラバスを参照し実際に実施した実験実習の課題名（テーマ名）を、簡条書きにしてください。実験実習の課題名以外（講義など）の記入は不要です（講義にかかわる内容は、実験実習に含まれることが前提となっています）。

④ レポート

c領域の実験、実習にはすべてレポート（ないし報告書）の作成が必要とされています。「④レポートについて」の、「a」、「b」が、通常のレポート作成・提出になります。放送大学の一般的な実験実習の授業では、実験実習の実施のあと、結果のまとめと考察を行い、それを実験実習の方法とともに、文書にまとめていると思います。これらがレポートに相当します。

⑤ 役割

課題ごとに役割を記入してください。実験者とは、実習の手順などを、実習に参加する人に説明し、実習の進行に対して責任を担う人のことです。一方、参加者（協力者）は、実習を実際に経験する人のことを指します。心理学実験実習の授業では、実験実習を実施する側、すなわち実験者としての経験も重要ですが、それ以上に参加者（協力者）として、実際に実習を経験することが重要視されます。授業内で行ったそれぞれの実習において、自分がどのような役割（実験者／参加者（協力者））を担っていたかを確認し、間違いのないように記入してください。

各科目の授業内容の詳細までは大学で把握していませんので、③④⑤欄についてのお問合せにはお答えできません（P.8の「注意」参照）。ご自身の判断で記入してください。

Ⅵ. FAQ (よくあるご質問)

Q1 全科履修生、選科履修生、科目履修生の、どの学生種で入学すればよいですか。

A1 放送大学で卒業を目指される方は、必ず全科履修生として入学してください。4年制大学を既に卒業していて、認定心理士に必要な単位の修得のみを目的とされる方は、いずれの学生種でも問題ありません。ただし、面接授業およびライブWeb授業を入学学期当初から登録申請する場合は、出願の手続きが通常と異なります。また、面接授業およびライブWeb授業で受講定員を上回る申請があった科目は抽選になりますので、計画どおりに履修できない可能性もあります。なお、既に他大学を卒業して学士の学位を取得している方は資格取得に必要な科目のみ修得してください。⇒ 関連 Q4、Q6

Q2 全科履修生で入学する場合、どのコースに所属すればよいですか。

A2 どのコースでも問題ありません。ただし、本学を卒業して学士の学位取得を目指す方は、「卒業要件」の中に「所属するコース科目から34単位以上を修得する」(2016年度以降のカリキュラム)という要件がありますので、認定心理士の資格取得のために修得した単位を卒業要件に最大限に生かすためには、「心理と教育コース」をお勧めします。

Q3 面接授業は必修ですか。

A3 c領域(心理学実験)の科目では、複数項目の実験・実習に、実験者および実験参加者(協力者)として参加し、結果のレポートをまとめた経験を持っていることが求められます。そのため、必ずc領域に対応する面接授業またはライブWeb授業を履修しなければなりません。c領域以外については、放送授業科目を修得することをお勧めします。放送授業およびオンライン授業の対応科目は、P.7「認定心理士対応科目表」に記載しています。面接授業およびライブWeb授業の対応科目は、放送大学ウェブサイトの「年度別資格取得対応科目一覧」をご確認ください(P.8～9参照)。

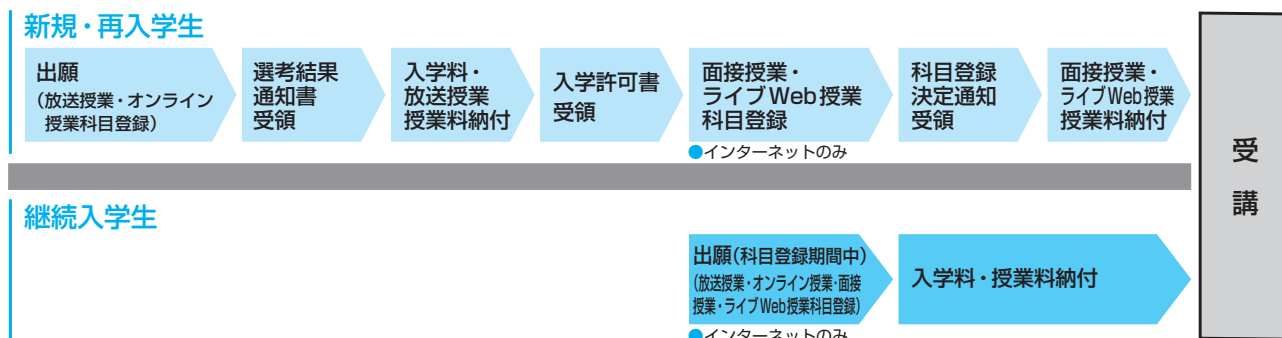
Q4 面接授業の科目登録方法を教えてください。

A4 面接授業を受講するには、以下のような登録手続きが必要です(ライブWeb授業の科目登録方法も同様です)。

入学学期当初から登録

入学学期当初から面接授業を登録する場合は、**新規・再入学**と**継続入学**で**出願の手続き期限等が通常と異なりますので、詳しくは「学生募集要項」でご確認ください。**

●**入学学期の面接授業登録の大まかな流れ** ※出願時には、1科目以上、放送授業・オンライン授業を登録する必要があります。



<次学期も学籍がある場合>

前学期に送付される「科目登録申請要項」を参照して次学期の科目登録を行ってください。

Q5 心理学関連の面接授業は、全国のどの学習センターでも開講されていますか。

A5 面接授業の開講状況は、**学習センターによって異なります。**また、心理学関連の面接授業がすべてc領域の科目とは限りません。ご希望の面接授業が所属の学習センターで開講されていない場合もありますので、あらかじめ放送大学ウェブサイトでご確認いただくか、学習センターにお問合せください。なお、科目名が同じでも、対応領域や認定単位数が異なる場合があります。科目登録される前に、必ず「年度別資格取得対応科目一覧」をご確認ください。

Q6 c領域(心理学実験)の単位だけが足りません。放送大学で面接授業だけを履修することは可能ですか。

A6 入学学期当初の出願時には少なくとも1科目は放送授業・オンライン授業を科目登録する必要があります。出願の手続きについて、詳しくは「学生募集要項」でご確認ください。⇒ 関連 Q4

Q7 i領域に該当する科目の認定単位は「基本主題」「副次主題」のどちらですか。

A7 i領域には「基本主題」「副次主題」の区別はありません。大学で修得した単位数が、そのまま認定単位数になります(ただし「卒業研究」の認定単位数は4単位です)。⇒ 関連Q8

Q8 全履修生の「卒業研究」の単位は、認定心理士の申請に利用できますか。

A8 心理学的なテーマを、心理学を専門分野とする教員が指導した場合に利用できます。所属が「心理と教育コース」であっても、指導教員の専門分野が心理学でない場合は認定心理士申請の単位として認められませんので、ご注意ください。なお、修士論文は認定心理士の資格取得には利用できません。

Q9 科目名が同じで開講年度が異なる科目を履修する場合、両方の単位が認められますか。

A9

<放送授業>

科目名が同じであっても、履修制限がかかっていない場合は、両方の科目を履修することができ、認定心理士の申請でも両方の単位が認められます。(例:「心理学研究法('14)」と「心理学研究法('20)」)。なお、履修制限がかかっている場合は、科目登録ができないため、1科目しか履修できません。

<面接授業>

過去5年以内に単位を修得した面接授業と同じ科目名の科目は、科目登録ができません。5年経過後には、同じ科目名の面接授業でも履修できるようになりますが、授業内容が類似している場合は、資格申請の際、1科目分しか認定されない可能性があります。特に、c領域の実験・実習科目は経験する実験課題が重複しないように履修してください。

Q10 大学院で修得した単位は、申請に利用できますか。

A10 大学院で修得した科目は、主に選択科目(d～h領域)、その他の科目(i領域)として利用できます(ただし、例外としてb領域として利用できる科目もあります)。どの科目が資格取得に利用できるかについては、「認定心理士資格取得対応科目一覧」でご確認ください(P.8参照)。なお、様式3「心理学関係科目修得単位表」に大学院科目を記入する際には、P.14「記入上の注意点」の10を参照してください。

Q11 短期大学で修得した単位は、申請に利用できますか。

A11 認定心理士は、大学で心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術を修得していることを認定するものであり、この場合の「大学」とは4年制の大学を指しています。そのため、短期大学で修得した単位は資格取得申請に利用できません。なお、短期大学から放送大学に編入学をした場合、既修得単位は一括認定されます。科目ごとの個別認定ではないため、短期大学において心理学関係科目の単位を修得していても、資格申請には利用できません。

Q12 他大学で修得した単位が資格取得に利用できるかどうかを放送大学で確認してもらうことはできますか。

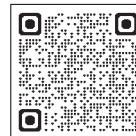
A12 他大学で修得した単位が資格申請に利用できるかどうかは、単位を修得した大学でご確認ください。当該の大学で確認できない場合は、日本心理学会の「単位認定基準」を参照し、ご自身で判断してください。

Q13 閉講科目の対応領域の確認方法を教えてください。

A13 放送大学ウェブサイト「年度別資格取得対応科目一覧」で確認してください(P.8参照)。

■認定心理士の年度別資格取得対応科目一覧

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist/list/>



Q14 日本心理学会の問合せ先を教えてください。

A14 公益社団法人日本心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル内

TEL: 03-3814-3962 E-mail: jpanintei@psych.or.jp



2026年度 認定心理士資格取得の手引き



〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

<お問合せ先>

学務部連携教育課公認心理師係

E-mail : k.shinri@ouj.ac.jp TEL : 043-276-5111 (総合受付)

※認定心理士に関するお問合せはメールでの受付となります。

また、回答に時間がかかる場合があります。